

てんじん

連携ニュース

独立行政法人
国立病院機構 甲府病院
山梨県甲府市天神町十一の三十五
電話〇五五二五三六三三(六次代表)
発行責任者
院長 長沼博文

2006年11月1日発行
第11号
<http://www.hosp.go.jp/kofu/>



今後の医療 提供体制について

事務部長 井坂安利

近年、医療を取り巻く環境は、年々厳しくなっているように感じます。そこで今後医療の提供体制等がどのように改革され、どう我々医療機関が今後進んでいったらよいかを考えるうえで、既にご存じの方もいると思いますが、国の医療構造改革の内容についてふれてみたいと思います。

少子高齢化が進む中で社会保障費が年々伸びており、医療費とりわけ老人医療費（一人年間約七五万円）の伸びが大きく、また国の財政状況が非常に厳しいということもあり、医療費の適正化（抑制）をいかに行っていくかということが改革の根底にあるように思います。その要

因となつてい生活習慣病予防の徹底と平均在院日数の短縮を対策の柱とした「医療費適正化計画」（五年計画）を平成二十年四月に国及び都道府県が策定し、そして保険者にはメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を含む一定の予防・検診を義務付けるという考えであります。更に現在の老人保健制度を見直し、七五歳以上の「後期高齢者医療制度」と六五歳から七四歳までの「前期高齢者の医療費にかかる財政調整制度」を創設するということ。また、介護療養型医療施設は、平成二十四年三月に廃止し老人保健施設等へ転換しようというものであります。

医療法等の改正関連では、一つは情報提供の推進であり、包括的な項目ごとにある一定の客観的事実を広く広告できるようにするとともに、都道府県に提出されている一定の情報を住民等に分かりやすく提供する。また、現在病院で行われている「治療計画等の文書による説明」を制度上位置付ける。二つ目は医療計画の見直しで、脳卒中、がん或いは小児救急等を明確に計画に位置付けて、それに係る指標或いは数値目標を明示して五年後に評価する仕組みにしていく。更に病院機能の分化・連携を推進して、結果として早期に在宅に復帰できるように仕組みにするというものを医療計画



富士山

もソフトの面から支援できるものにしていくということです。三つ目は医師不足への対応ですが、この問題は各医療機関とも深刻な問題であり、これについては県の医療対策協議会を法律上制度化して、そこに地域医師会、病院団体や大学等の関係者を入れて協議し、その結果は医療従事者に協力義務を位置付けるというものです。四つ目は医療安全の確保で、行政処分後の医療従事者は再教育を受けたうえで復帰することを義務化するということです。それに関連して五つ目は、医療従事者の資質の向上であり、看護師等については医師と同様に名称独占にする。また、外国人の看護師等も外国人医師と同じように臨床修練施設で指導者のもとで一定期間修練を行わせるということ。六つ目は医療法人制度の改革で、解散時の残余財産は出資額までしか戻さない。それから公的医療機関が担っているへき地や小児救急医療を担う法人として「社会医療法人」を創設する。七つ目として有償診療所のベッドについても、医療計画の基準病床としてカウントしようというものです。以上が主な内容ですが、これらは来年四月か

ら施行されますが、有償診療所関係は平成十九年一月、医療従事者の再教育関係は二十年四月からであります。

国の医療費適正化対策のもとで、医療機関の経営は、益々厳しくなることが予想されますが、その波にのまれないよう、今後とも種々行われる改革を見極め、いかにスピーディーに対応していくかということが重要であります。

当院は、建替時に多額の借入

れをしたこともあり、今後経営

は益々厳しくなるものと思っておりますが、そういう状況の中にあつて、今以上に地域住民の信頼を確保し、また地域医療機関との連携を更に強化しつつ、担うべき政策医療である成育医療等の充実を図り、地域から信頼され、かつ、必要とされる医療機関となるよう、更に努力していかなければならないと思っております。

「意識改革なくして成長なく



診療科案内

呼吸器科

呼吸器科医長 高崎 仁

「結核の話」

1、はじめに

当院呼吸器科では、喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、肺感染症、肺癌、間質性肺疾患、免疫・アレルギー性肺疾患など様々な呼吸器疾患の内科的診療にあたっていますが、当院は結核診療において山梨県内最大の結核病床数(五十床)を有する専門施設にも位置付けられています。結核は、正しい知識のもとにき

ちんと治療すれば、決して不治の病ではなく、有効な薬を二週間も服用すれば、身近な人に関する心配はほとんどなくなりま

2、結核とは?

一言でいうと、結核(症)は結核菌による感染症です。空気感染もしくは飛沫核感染といつて、空气中を漂う菌を肺の奥深く吸い込み、菌が定着・増殖することによって感染が成立します。患者さんの身につけている衣類

将来もない」と思います。過去の

のことにとらわれず新しい発想で何事にも取り組むことが肝要であり、まずは当院の理念である五つの事項について、職員一人ひとりが再認識して努力していくことが必要ではないでしょうか。

理念①患者様の目線に立った医療、②政策医療と地域医療の推進、③患者様の権利を守る、④研究と教育の推進、⑤安定した経営を目指す



や食器などから感染することはありません。さらに、感染した人が一生のうちに発病する確率は一割程度です。一九四〇年代にストレプトマイシンという薬が発見されてから、ようやく本格的な結核対策が始まりました。当時は、日本でも人口十万人あたり二〇〇人の方が結核で命を落としていましたが、近年は人口十万人あたり二人程度にまで減少しています。

3、結核の症状は?

最も多い症状は、咳、痰、熱です。「風邪が長引く」という程度のありふれた症状です。ところが、よく考えてみると、風邪にしては長く続き、鼻水や咽頭の痛みなどがなかったりするものです。他に、胸の痛み、だるさ、食欲低下、体重減少など、まったく無症状のこともあります。

4、治る病気です

適切な医療を受けていれば、結核はほとんどが治る病気です。ごく稀に治療が難しいのは、薬の副作用が強くて使えなかったり、薬が効きにくい菌であったり、肺の機能が極端に障害されてしまったり、骨や脳まで蝕まれてしまったりした患者様で、重い後遺症を残してしまうことがあります。

5、なかなか減らない感染症です

山梨県は、結核の罹患率が全国で常にトップ三に入るくらい少ない県です。それでも県内で年間百名を上回る患者さんが発生しており、なかなか減らないのが現状です。かつて結核が「国民病」とまで言われた一九五〇年代までに、多くの人が潜在的に結核に感染しました。しかし、これはあくまで過去の「感染」であり、いわば「傷跡」

のようなもので、周囲に感染させる心配も治療の必要もありません。ところが、結核菌の感染を受けた体の中で、菌は完全には死滅しないと考えられています。いわば「冬眠」状態です。加齢や様々な疾患により免疫力が低下すると、菌が「冬眠」から目覚めて、発病することがあります。お年寄りが多いのはこのため、感染から発病までの期間が非常に長いためなかなか制圧できません。また、結核が少なくなつた現在、結核に対する免疫力をもたない若い世代は、いざ感染したときに容易に発病してしまう傾向があります。また、自覚症状が少ない患者さんの医療機関への受診の遅れ、さらに医療従事者の結核の認識が薄れている現代、診断の遅れも問題点として指摘できます。まずは患者さんの早期発見が重要で、もしかしたら結核ではないかと疑ってみる事です。自覚症状がない患者様もいらつしやいますので、健康診断も大切に。小さなお子様は、容易に重篤な状態にまで進展してしまう危険がありますので、予防接種であるBCGを必ず生後六ヶ月以内に受けていただく必要があります。

6、終わりに

当科では、医師、看護師、薬剤師、栄養師、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカーが集い毎週カンファレンスを開き、チーム医療を実践しています。ま



職場紹介

8 病棟

8病棟看護師長 指宿 えり子

今、紅葉の美しい季節です。五階建ての一般病棟の北側に三階建ての重症心身障害病棟があり、その三階が8病棟です。現在幼児期の患者様から六十代の患者様まで幅広い年齢層の方が三十九名入院されており、重症心身障害とは重度の身体障害と知的障害を併せ持った障害のことです。重症心身障害者は様々な基礎疾患をもつと共に合併症を重複してもつことが多い。健康を左右するいくつかの特異性を持ち、且つ容易に変化しやすいため看護師は、顔色・動作・表情・食欲さらには体温・呼吸・発汗の様子など平常と異なつた徴候を敏感に感じ取る観察眼を養うことが必要です。ま

た、地域の保健所職員と毎月ミーティングを行い、退院後も患者様が安心して治療を継続できるように準備します。結核治療完遂に向けて、力をあわせていっしょに立ち向かっていきましよう。

た、自力移動ができる患者様は少なく寝たきりで自ら身体を動かすことができずコミュニケーションも充分にとれない方が多く、看護の力が重要となります。それは呼吸管理・栄養管理・摂食訓練・排泄ケア・呼吸器感染予防などのための口腔ケア等日々の生活を整えるために必要な基本的な援助です。呼吸管理は直ぐに命に直結する様々な問題が起きることのない様に呼吸を助けるためにベッド上での体位変換や、寝たきりにせず車椅子に乗っていただくことも肺の換気を良くする大事なケアです。栄養管理の面からは患者様の摂食状況に合わせた食事形態に配慮されています。摂食障害があ



病棟西側に広いバルコニーがあります。今日は天気がよく外気浴しながらおやつを頂いています。

る患者様が少しでも長く口から食事していただくために、どんな姿勢が良いのか介助者はどこに位置して介助すべきかなど、その方に合った摂食訓練をしています。このように患者様個々に持っている様々な日常生活上の健康問題を解決していくことが看護の役割です。看護師は患者様のもつとも身近な位置で、もつとも長い時間接し、生活過程での援助を担っています。このような立場を認識して他職種と協力し、それぞれの専門性を正しく発揮できるように調整し、充実した医療・看護・療育が提供できるように努めています。

外 来 診 療 担 当 表

平成18年11月1日現在		月	火	水	木	金
内 科	1	渡 邊	川 口	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	川 口	黒 澤
	3	川 口	尾 畑	高 木	中 尾	高 木
	4	高 崎	高 崎		高 崎	
	5					
脳神経外科	5		長 沼			長 沼
特 殊 外 来 午後3:00~		高 木		高 崎		高 崎
精 神 科			平 野・塩 江			
小 児 科	1	久 富	稲 見	久 富	久 富	稲 見
	2	加 藤	田 口	斉 藤	加 藤	田 口
	3	中 根	神 谷	中 村	中 根	野 口
	3	中 村	野 口	神 谷	第1週 畠 山 第4週 神 谷 第2週 小 野 第3週 小 野	中 根
消 化 器 科		河 口	稲 岡	稲 岡		河 口
外 科		鈴 木	角 田	竹 花	鈴 木	角 田
整 形 外 科	1	萩 野	若 生	若 生	萩 野	萩 野
	2	若 生	落 合	落 合	落 合	落 合
泌 尿 器 科		相 川	川 口	相 川	相 川	相 川
産 婦 人 科	1	深 田	深 田	高 木	深 田	深 田
	2	伊 東	高 木	伊 東	伊 東	高 木
	3	山梨大学より				山梨大学より
眼 科		古 市	古 市	古 市	手術日	古 市
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎	

※乳児健診(小児科) 毎週火・木曜日 (完全予約制)
 ※予防接種(小児科) 毎週水曜日 (完全予約制)
 ※人間ドック 毎週火曜日 (完全予約制)
 ※脳ドック 毎週火・金曜日 (完全予約制)
 ※高齢者検診 毎週月・木曜日 (完全予約制)
 ※結核検診 毎週月・水・金曜日 14時から16時
 ※毎月第4金曜日 黒澤医師 糖尿病教室

看護職員を募集しています。
 【お問い合わせ先】看護部長室
TEL/055-253-6131 (代)
FAX/055-251-5597

編集後記

早いもので、今年も残すところあと二ヶ月となりました。

さて、皆様ご存知のとおり来年のNHK大河ドラマは「風林火山」です。

既に、九月頃から県内各地、一部県外でクランクインしているようです。

来年は、郷土の英雄がクロージアアップされ、一年を通し「武田信玄、山本勘助」の話題で賑わい、観光客の数も大幅に増え、活気溢れる甲府となることでしょう。

最後に、朝晩は寒いと感じる候になり、これからインフルエンザ等の流行する季節になります。皆様方には、風邪等引かぬよう元気で過ごして下さい。

(山)

医療連携室直通電話

TEL 055-2440-6223(代)
 FAX 055-2440-6225